

令和5年度小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

スタッフ個別評価・・・・・・・・・・（ス-①～⑨）

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

スタッフ個別評価・様式

評価実施期間 令和5年11月6日～17日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー

津村 中村 坂根 船木 河本
前場 宮脇 原田 山上 高嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
新規利用前に行われる担当者会議にはできるだけ施設長、ケアマネージャー、介護リーダーが参加し、本人・家族のニーズの明確化を行う。職員ミーティングで報告、共有する。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	1人	8人	1人	0人

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	7	1	0
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援が来ていますか？	0	9	1	0
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いが出来ていますか？	2	7	1	0
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係作りのための配慮をしていますか？	1	7	2	0

できている点

- ・新規利用者の情報回覧、共有、利用者の更新情報のチェックができています。
- ・事前情報による食事形態、薬の内容、歩行状態、ニーズの把握ができており、利用開始時にはスムーズな対応が来ている。
- ・本人が慣れて頂けるよう、安心して過ごせるように利用開始からのコミュニケーションに努めている。
- ・前情報から関わり、行動などをアセスメントし、支援に繋げている。

できていない点

- ・担当者会議は施設長、ケアマネのみで開催の時もある。
- ・家族との連携がうまくできていない時がある。
- ・家族と関わる機会が少なく、全ての家族の不安の把握や受け止めは来ていない。

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)

家族との関わりがない、少ない
現場スタッフの中には担当者会議が開かれているか知らない職員もいる。
施設長・ケアマネ・介護リーダーがそろった日に時間を合わせて担当者会議を行うことが困難である。

スタッフ個別評価・様式

評価実施期間 令和5年11月6日～17日

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー
津村 中村 坂根 船木 河本
前場 宮脇 原田 山上 高嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
利用開始前にミーティングにて、本人の目標を職員間で確認する。
利用者担当は月末のモニタリング時に、目標に対する評価をする。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	8人	1人	0人

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	「本人の目標（ゴール）」が分かっていますか？	0	8	2	0
②	本人の当面の目標「～したい」が分かっていますか？	0	10	0	0
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々の関わりができていますか？	0	9	1	0
④	実践した（関わった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	0	6	4	0

できている点

- ・ケアプランにて内容を理解し、日々の関わりからもニーズを探っている
- ・日々のミーティングで情報伝達、情報交換され支援検討もできている
- ・ADLに特化した個別リハビリができています
- ・利用状況表にケアプランを挟んでいるので職員がいつでも確認できているようにしている

できていない点

本人の目標に対して十分な支援がしきれていない
 ケアプランの目標の記載があるがあまり目を通してない
 職員全員に目標の把握はできていないと思う
 自分の担当者の目標は把握しているが他職員の利用者の内容は把握できていない

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

ゴールや目標がわかっても強い拒否があれば対応に困り方法がわからないときがある
 本人と家族の思いが異なり本人の目標を達成するのに時間がかかる
 本人の目標達成に向けた支援を行うための人員が不足している
 ミーティングでの確認がその日出勤していない職員に伝わっておらず、後日知らされる事が多い
 全体ミーティング時など組み分けして各利用者のプラン、実施状況や日程について話し合う機会があってもよい

3. 日常生活の支援

メンバー	津村 中村 坂根 船木 河本 前場 宮脇 原田 山上 高嶋
------	----------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	契約時に聞き出した「以前の暮らし方」を回覧し、情報を共有する。 嗜好や趣味などの情報をもとにコミュニケーションをとる。
---------	--

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	1人	6人	3人	0人

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	3	7	0
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	0	9	1	0
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	7	3	0
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいた時、その都度共有していますか？	1	8	1	0
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	8	1	0

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の思い、気持ちは月1回の座談会を通して聴く機会を設けている。 ・利用者の体調変化はすぐに気づき、共有できている ・個人カルテや回覧に詳しい情報があり、目を通して
--------	---

できていない点	<p>詳しい事前情報による以前の暮らし方は個人ファイルにあるが、10個以上の把握が出来ていない 本人の声にならない声をくみ取る努力はしているがミーティングなどで言語化、共有は難しい 個別支援は提供しているが、多職種との連携は不十分である</p>
---------	--

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）	<p>本人の状況や環境の変化をより詳しく記録に残せば他の職員にもわかりやすく情報共有できると思う ミーティングでの情報共有はしているが、意見の食い違いにより適切な介護かどうか分からないときがある 医師・外部機関・専門職との考え方の違いにより適切な介護かどうか分からないときがある 情報を収集したいが、本人とのコミュニケーション不足も原因と思われる。</p>
-------------------------	--

4. 地域での暮らしの支援

メンバー

津村 中村 坂根 船木 河本
前場 宮脇 原田 山上 高嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

年1回、毎月の職員ミーティングにて地域資源の勉強会が開催できるように職員間で準備に取り組む。

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	0人	7人	2人	1人

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	4	5	0
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	5	5	0
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	5	5	0
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	4	6	0
⑤ 地域資源の必要性を学ぶ研修に参加し、その内容を共有出来ましたか	1	2	5	2

できている点

法人での勉強会（回覧）が年1回行われている。
本人の生活スタイルは事前の情報収集により把握に努めている
利用者との会話からの情報や、送迎時・来所時による家族とのコミュニケーションにも努め、情報を聞きだす努力をしている。

できていない点

生活の情報を十分に把握できていない
通い利用者の居宅での生活の様子が把握できていない事が多い
地域との関係が切れない支援が出来ていない
勉強会（回覧）はされているが、内容は深くできていない

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

地域との関係を繋ぐ立場、役割ではない
勉強会と言っても回覧なので質問もできず自分で調べるしかない
地域資源の勉強会をしたいが、職員へ伝えたい知識、情報の不足により実際には開けてない

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー

津村 中村 坂根 船木 河本
前場 宮脇 原田 山上 高嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

職員の木曜会開催時のオンライン参加を短時間でよいので促していく。(感染拡大時はその限りにあらず。)

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	4人	0人

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	3	7	0
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	10	0	0
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することが出来ていますか?	1	9	0	0
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援が出来ていますか?	0	10	0	0

できている点

本人の変化はすぐ職員間で共有している
利用者の木曜会のオンライン参加は行われている
利用者のニーズと事業所の対応可能な支援内容と照らし合わせ、適切なサービスを提供できている

できていない点

木曜会が何なのかいまだにわかっていない
地域資源の活用が出来ていない
地域資源を使っていなくても事業所だけで支援できている利用者もいるため、地域資源の必要性があまりわかっていない

なぜ? どうして? できていないのか? (その理由)

木曜会に参加して事がない職員が多数なため内容がわからない
変化の情報提供がなされても周知の徹底やその継続が不十分である。
木曜会が理解できていない職員多く、オンラインもわかりづらい

6. 連携・協働

メンバー

津村 中村 坂根 船木 河本
前場 宮脇 原田 山上 高嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

地域機関の活動、イベントは再開次第参加する。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	2人	4人	4人

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	4	4	2
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	2	5	3
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	0	4	6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	5	5

できている点

見学者の訪れが以前より緩和されている
実習生や外部機関の受け入れや来訪を増やしている

できていない点

地域機関の活動、イベントに事業所としては参加しているかもしれないが、現場職員は参加したことがない
活動・イベントの再開が未定である
施設発信でのイベントが乏しいため交流が出来ていない

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

要請があれば参加するが、イベントの機会も要請もない
新型コロナウイルス感染症は減少してきたように思うが、事業所の方針によりイベントはほぼ不参加の状態である

7. 運営

メンバー

津村 中村 坂根 船木 河本
前場 宮脇 原田 山上 高嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

苦情報告の原本はファイルに綴り、コピーを回覧する。
回覧をミーティングで読み上げ、職員全員に周知する。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	7人	0人	0人

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことが出来ていますか？	1	6	3	0
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	8	0	0
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	6	3	0
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	4	6	0

できている点

苦情は即座に報告・回覧を行っている
苦情に対してはすぐに改善・対応を行っている
今後の対応についてその場で取り決めをし、すぐに実行に移している。

できていない点

地域と協働した取組みができていない
苦情が出てしまう背景に利用者の希望する支援が出来ていなかったり、連携が不十分であったことなどが原因として挙げられる。

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)

利用者からの苦情は対応しているが、地域の方の意見・苦情に関しては実際に苦情があるのか、あれば対応しているのかどうか分からない。
事業所としては地域と協働しているかもしれないが、現場スタッフが地域と協働する事はない。

8. 質を向上するための取組み

メンバー

津村 中村 坂根 船木 河本
前場 宮脇 原田 山上 高嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

参加可能なオンライン研修は参加を促す。参加できないときは会議内容を録画撮影し、後日職員で視聴する。
外部研修のオンラインに職員参加を促す。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	5人	5人	0人

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	0	8	2	0
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加出来ていますか	0	4	5	1
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	6	4
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	10	0	0

できている点

職場内の研修は書類回覧、リスクマネジメント報告は会議にて行っている。
オンライン研修の頻度は少ないが、見たことがある
早急に改善を要するリスク案件は当日即座に検討会を開き、早期の対応に努めている

できていない点

オンライン研修に参加できていない職員がいる
録画、後日視聴は行われていない。
地域連絡会がどういうものかわからない

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

オンライン研修の頻度が少ない
地域連絡会自体やっているかどうか不明
当日の職員数不足により、見守り職員がいない状態にできないため、参加できない傾向にある。

9. 人権・プライバシー

メンバー

津村 中村 坂根 船木 河本
前場 宮脇 原田 山上 高嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

年間研修計画にて、月1回の職員ミーティングで成年後見制度の勉強会を開催する。
(感染拡大時は書類回覧による自己学習も研修とする)

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	1人	0人

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 身体拘束をしていない	8	2	0	0
② 虐待は行われていない	8	2	0	0
③ プライバシーが守られている	8	2	0	0
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	2	7	1	0
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	6	4	0	0
⑥ 成年後見制度について勉強会を開催する	4	5	1	0

できている点

- ・身体拘束や虐待をしていない。見守り強化のための補助用具使用など適正かどうかミーティングで検討している。
- ・成年後見制度の資料回覧ができています。
- ・職員の些細な気付きにより、利用者への配慮が充分に行えていると思う。

できていない点

- ・成年後見制度がよくわからない
- ・利用者への成年後見制度活用に当たっては現場スタッフが関わっていないし、仲介もしていない

なぜ? どうして? できていないのか? (その理由)

- ・成年後見制度をどのようなときに活用できるか理解していない
- ・成年後見制度の施設内ミーティングを開催したいが知識を蓄えてから職員へ伝えたいため、準備が不足している。
- ・勉強会担当者が専門研修を受けてから勉強会を開催した方がよいと思う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月24日(13:00~14:00)
令和5年11月27日(13:00~14:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 津村 中村 坂根 船木 河本
前場 宮脇 原田 山上 高嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	1人	0人	10人

前回の改善計画
新規利用前に行われる担当者会議にはできるだけ施設長、ケアマネージャー、介護リーダーが参加し、本人・家族のニーズの明確化を行う。職員ミーティングで報告、共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・新規利用前の事前情報の伝達共有が良くなり、ご利用者へのサービス提供は向上しているといえる。 ・担当者会議への介護職員参加や、ご家族との関わりが不足していると感じる職員もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	7	1	0	10
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	9	1	0	10
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	7	1	0	10
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	7	2	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・①~④の項目はおおむねできている。 ・新規利用者の情報回覧、共有、利用者の更新情報のチェックができています。 ・事前情報による食事形態、薬の内容、歩行状態、ニーズの把握ができており、利用開始時にはスムーズな対応が出来ている。 ・本人が慣れて頂けるよう、安心して過ごせるように利用開始からのコミュニケーションに努めている。 ・前情報から関わり、行動などをアセスメントし、支援に繋げている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・担当者会議は施設長、ケアマネのみで開催の時もある。 ・家族との連携がうまくできていない時がある。 ・家族と関わる機会が少なく、全ての家族の不安の把握や受け止めは出来ていない。 ・現場スタッフの中には担当者会議が開かれているか知らない職員もいる。 ・施設長・ケアマネ・介護リーダーがそろった日に時間を合わせて担当者会議を行うことが困難である。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
感染症予防対策も継続しながらであり、職員およびご家族との日程調整が難しい状況も考慮しつつ、 ①管理者、ケアマネは介護職員の担当者会議参加の調整や声かけに努める。 ②会議に参加できなかった場合は、担当介護職員に会議の内容をきちんと伝える。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月24日(13:00~14:00)
令和5年11月27日(13:00~14:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 津村 中村 坂根 船木 河本
前場 宮脇 原田 山上 高嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	1人	0人	10人

前回の改善計画
利用開始前にミーティングにて、本人の目標を職員間で確認する。 利用者担当は月末のモニタリング時に、目標に対する評価をする。
前回の改善計画に対する取組み結果
ご利用者担当の職員個々では、目標の把握と評価はできているといえる。 担当以外のご利用者の目標支援は情報の伝達不足などもあり、チームとして上手く関わっていない部分もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	8	2	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	10	0	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	9	1	0	10
④	実践した(かかわた)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	4	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ケアプランにて内容を理解し、日々の関わりからもニーズを探っている・日々のミーティングで情報伝達、情報交換され支援検討もできている・ADLに特化した個別リハビリができています・利用状況表にケアプランを挟んでいるので職員がいつでも確認できているようにしている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・①～③の項目はおおむねできている。・本人の目標に対して十分な支援がしきれていない。・職員全員に全利用者の目標把握はできていない。目標の記載があるが忙しくあまり目を通していない。・自分の担当者の目標は把握しているが他職員の利用者の内容は把握できていないゴールや目標がわかっても強い拒否があれば対応に困り方法がわからないときがある。・本人と家族の思いが異なり本人の目標を達成するのに時間がかかる。・本人の目標達成に向ける支援を行うための人員が不足していて、十分な支援がしきれていない。・ミーティングでの確認がその日出勤していない職員に伝わっておらず、後日知らされる事が多い。・ミーティング時など組分けして各利用者のプラン、状況や日程について話し合う機会があってもよい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
担当職員個人レベルなら、評価→サービス提供につながっている。 ①小グループを作り、ミニ会議→適宜午後申し送りの際、進捗状況について簡素に報告する形式を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月24日(13:00~14:00)
令和5年11月27日(13:00~14:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 津村 中村 坂根 船木 河本
前場 宮脇 原田 山上 高嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	3人	0人	10人

前回の改善計画

契約時に聞き出した「以前の暮らし方」を回覧し、情報を共有する。
嗜好や趣味などの情報をもとにコミュニケーションをとる。

前回の改善計画に対する取組み結果

以前の暮らし方を10個以上把握は難しいが、「日常生活の支援」という全体の 카테고리では良いサービス提供ができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	7	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	9	1	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	7	3	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	8	1	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	8	1	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ②～⑤はおおむねできている。
- 本人の思い、気持ちは月1回の座談会を通して聴く機会を設けている。
- 利用者の体調変化はすぐに気づき、共有できている
- 個人カルテや回覧に詳しい情報があり、目を通して

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 詳しい事前情報による以前の暮らし方は個人ファイルにあるが、10個以上の把握が出来ていない。
- 本人の声にならない声をくみ取る努力はしているがミーティングなどで言語化、共有は難しい。
- 個別支援は提供しているが、多職種との連携は不十分である。
- 本人の状況や環境の変化をより詳しく記録に残せば他の職員にもわかりやすく情報共有できると思う。
- ミーティングで情報共有はしているが意見の食い違いにより適切な介護かどうかわからない時がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

①毎年、以前の暮らし方把握10個以上は困難なので、5個以上に目標を変更する。
②本人の些細な一言などを気持ちを察する内容はすぐメモするなど工夫を行い、記録化に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和5年11月24日(13:00~14:00) 令和5年11月27日(13:00~14:00)
-----	--

4. 地域での暮らしの支援

メンバー	津村 中村 坂根 船木 河本 前場 宮脇 原田 山上 高嶋
------	----------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	7人	2人	1人	10人

前回の改善計画	年1回、毎月の職員ミーティングにて地域資源の勉強会が開催できるように職員間で準備に取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	法人内での学習は行われたが、事業所内独自での勉強会開催に至らず。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	4	5	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	5	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	5	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	4	6	0	10
⑤	地域資源の必要性を学ぶ研修に参加し、その内容を共有できましたか?	1	2	5	2	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 法人での勉強会(回覧)が年1回行われている。 本人の生活スタイルは事前の情報収集により把握に努めている 利用者との会話からの情報や、送迎時・来所時による家族とのコミュニケーションにも努め、情報を聞きだす努力をしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 全体を通し、直接地域との関わりを問われると、この項目はあまりできていない評価になる。 生活の情報を十分に把握できていない。 通い利用者の居宅での生活の様子が把握できていない事が多い。 地域との関係が切れない支援が出来ていない。 勉強会(回覧)はされているが、内容は深くできていない。 勉強会と言っても回覧なので質問もできず自分で調べるしかない。 地域資源の勉強会をしたいが、職員へ伝えたい知識、情報の不足により実際に開けてない。 直接本人に関わる人だけが繋がっている状況がほとんどで、事業所職員が関係作りに奔走しなければ、できたといえない項目は無理があるのでは。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>目的は、地域資源を理解し、その後活用につなげる事にあるのでまずは、</p> <p>①「地域資源もしくは地域の活用の趣旨」についてのわかりやすい解説動画を複数用意し、職員が閲覧→施設内研修ができるように環境を整え、理解を深める。 (本部主導：YouTube中心に動画視聴環境整備)</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和5年11月24日(13:00~14:00) 令和5年11月27日(13:00~14:00)
-----	--

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー	津村 中村 坂根 船木 河本 前場 宮脇 原田 山上 高嶋
------	----------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	6人	4人	0人	10人

前回の改善計画

職員の木曜会開催時のオンライン参加を短時間でよいので促していく。(感染拡大時はその限りにあらず。)

前回の改善計画に対する取組み結果

数回オンライン参加を試みたが、業務を行いながらの参加促進だったので、ほぼ職員は会議に参加できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	3	7	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	10	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	9	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	10	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ②～④の直接支援実施できる事はおおむねできている。 本人の変化はすぐ職員間で共有している 利用者の木曜会のオンライン参加は行われている 利用者のニーズと事業所の対応可能な支援内容と照らし合わせ、適切なサービスを提供できている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 木曜会が何なのかいまだにわかっていない 地域資源の活用が出来ていない 地域資源を使っていなくても事業所だけで支援できている利用者もいるため、地域資源の必要性があまりわかっていない。 オンラインは会議中の音声サポートハウス内で聞き取りづらいなど音声環境の問題もある。 木曜会に参加した事がない職員が多数なため内容がわからない 変化の情報提供がなされても周知の徹底やその継続が不十分である。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 運営会議の内容を知ってもらうために、 ①タブレットを活用し、会議を録画し、職員に視聴してもらう。 ②会議参加可能な状況であれば、ご利用者と職員に会議に参加してもらう。(感染予防観点) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和5年11月24日（13：00～14：00）
	令和5年11月27日（13：00～14：00）

6. 連携・協働

メンバー	津村 中村 坂根 船木 河本
	前場 宮脇 原田 山上 高嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	2人	4人	4人	10人

前回の改善計画	地域機関の活動、イベントは再開次第参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナウイルスやインフルエンザ感染症予防のため、地域の活動には参加できていない。実習生受け入れなど可能な事から随時交流再開。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	4	4	2	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	2	5	3	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	0	4	6	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	5	5	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・見学者の訪れが以前より緩和されている ・実習生や外部機関の受け入れや来訪を増やしている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域機関の活動、行事に事業所としては参加しているかもしれないが現場職員は参加したことがない。 ・活動・イベントの再開が未定である。 ・施設発信でのイベントが乏しいため交流が出来ていない。 ・要請があれば参加するが、イベントの機会も参加要請も現場には話がない。 ・新型コロナウイルス感染症は減少してきたように思うが事業所の方針によりイベントはほぼ不参加の状態である。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域自治会などの各種活動、イベントは、(感染予防観点) 可能であれば参加を再開していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月24日(13:00~14:00)
令和5年11月27日(13:00~14:00)

7. 運営

メンバー 津村 中村 坂根 船木 河本
前場 宮脇 原田 山上 高嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	0人	0人	10人

前回の改善計画	苦情報告の原本はファイルに綴り、コピーを回覧する。 回覧をミーティングで読み上げ、職員全員に周知する。
前回の改善計画に対する取組み結果	苦情を周知するシステムが定着化し、改善できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意を言うことができますか?	1	6	3	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	8	0	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	3	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	4	6	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ②はおおむねできている。 苦情は即座に報告・回覧を行っている 苦情に対してはすぐに改善・対応を行っている 今後の対応についてその場で取り決めをし、すぐに実行に移している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ①、③、④はあまりできていないと評価する職員も多い。 地域と協働した取り組みができていない 苦情が出てしまう背景に利用者の希望する支援が出来ていなかったり、連携が不十分であったことなどが原因として挙げられる。 利用者からの苦情は対応しているが、地域の方の意見・苦情に関しては実際に苦情があるのか、あれば対応しているのかどうか分からない。 事業所としては地域と協働しているかもしれないが、現場スタッフが地域と協働する事はない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>地域との共同取り組みを実現できるように、項目4と同様に、</p> <p>①「地域資源もしくは地域の活用の趣旨」についてのわかりやすい解説動画を複数用意し、職員が閲覧→施設内研修ができるように環境を整え、理解を深める。(本部主導)</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月24日(13:00~14:00)
令和5年11月27日(13:00~14:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 津村 中村 坂根 船木 河本
前場 宮脇 原田 山上 高嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	5人	0人	10人

前回の改善計画	参加可能なオンライン研修は参加を促す。参加できないときは会議内容を録画撮影し、後日職員で視聴する。外部研修のオンラインに職員参加を促す。
前回の改善計画に対する取組み結果	予想より外部とのオンライン研修への参加頻度が少ないので、できているとはいえない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0	8	2	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	4	5	1	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	6	4	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	10	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ①、④研修の実施、リスクマネジメントの取り組みはできている。 職場内の研修は書類回覧、リスクマネジメント報告は会議にて行っている。 オンライン研修の頻度は少ないが、見たことがある 早急に改善を要するリスク案件は当日即座に検討会を開き、早期の対応に努めている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ②、③はできていないとする評価も多い。 オンライン研修に参加できていない職員がいる 録画、後日視聴は行われていない。 地域連絡会がどういうものかわからない 職員数不足により、研修予定日が勤務変更、時間が確保できず、結局外部研修への参加が不可になる事がある。録画する方法がよくわからない。 人員不足もあり、スキルアップ研修に参加するようなゆとりがない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> タブレットを活用して、様々な研修動画がみられるような仕組みを作り、研修参加環境を整備する。(本部主導：県長寿社会課のホームページ上にある資料、動画の視聴環境整備) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月24日(13:00~14:00)
令和5年11月27日(13:00~14:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 津村 中村 坂根 船木 河本
前場 宮脇 原田 山上 高嶋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	1人	0人	10人

前回の改善計画	年間研修計画にて、月1回の職員ミーティングで成年後見制度の勉強会を開催する。 (感染拡大時は書類回覧による自己学習も研修とする)
前回の改善計画に対する取組み結果	健推会全体での成年後見制度学習会(資料回覧)は参加できたが、施設内での勉強会は知識が不足しているため、実施できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	8	2	0	0	10
② 虐待は行われていない	8	2	0	0	10
③ プライバシーが守られている	8	2	0	0	10
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	2	7	1	0	10
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	6	4	0	0	10
⑥ 成年後見制度について勉強会を開催する	4	5	1	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">①~⑤の項目はおおむね適正にできている。身体拘束や虐待をしていない。見守り強化のための補助用具使用など適正かどうかミーティングで検討している。成年後見制度の資料回覧ができている。職員の些細な気付きにより、利用者への配慮が充分に行えていると思う。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">成年後見制度がよくわからない利用者への成年後見制度活用に当たっては現場スタッフが関わっていないし、仲介もしていない成年後見制度の施設内ミーティングを開催したいが知識を蓄えてから職員へ伝えたいため、準備が不足している。勉強会担当者が専門研修を受けてから勉強会を開催した方がよいと思う。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
成年後見制度だけでなく、他の権利擁護制度なども学べる解説の動画を複数用意し、職員が閲覧→施設内研修ができるように環境を整える。(本部主導：ユーチューブ中心に動画視聴環境整備)	

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります。
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。
 わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- 当日は、記入頂いたチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。
 事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に○を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5	0	0
2	自己評価を作成する際、常勤スタッフの意見が反映されて実施していることが確認できましたか？	4	0	1
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	4	0	1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4	0	1

- 以下のB～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に○を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？ <u>【前回の改善計画】（事業所自己評価シート 1～9 参照）</u> 消毒、清掃など衛生面での感染対策やその他必要物品購入、設備修繕など計画的な予算を立て、利用環境向上や業務負担軽減に取り組み、より良いサービス提供のため環境を整備していく。	4	0	1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4	1	0
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	5	0	0
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	5	0	0

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に○を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	【前回の改善計画】 ①参加が可能な地域の交流イベントに協力をしていく。 →感染対策上、イベント自体自粛や祭参加見合わせとなった。文化祭作品展示や日曜日の清掃活動などできることを行った。 ②施設周辺で出会った方や来所された方全員に、声かけを心がける。 →職員からは挨拶するように意識していたとの意見。	5	0	0
1	職員はあいさつできていますか？	5	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3	0	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	1	0	4
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	3	2

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に○を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	【前回の改善計画】 ①感染予防に努めて、ご利用者が外出できる機会を多く作る。 →不特定多数の方が密集する場所は避けつつ、ドライブや散策など企画実施した。 ②広報誌、チラシを近隣に配布し、地域の窓口となれるよう広報活動を行う。 →広報誌は1.5.9月と年3回発行し、関係外部や近隣住民など毎回約150部配布している。サポートハウスチラシを約200部配布中。 ③関係機関と協力し、今生活に困っている方の情報網を広げ、支援する。 →地域包括支援センターや関係者を通し、相談に乗る機会が複数あった。	4	0	1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5	0	0
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	0	0	5
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	1	2	2
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	0	0	5

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に○を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ・事業所の活動や改善進捗状況のなどの報告・説明を行い、委員との交流を深め、地域で暮らしを支える仕組み作りに貢献する。相談を受けた事例などを報告する。 →今年度これまで4回開催。各施設での個別対応など推進会議で報告し、紹介した事案も複数あった。	4	0	1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4	0	1
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	0	1	4
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	4	0	1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4	0	1

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に○を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ①災害対策、計画の内容を、木曜会、広報誌・SNS 上において広報を行い、信頼される施設を目指す。 →9月広報誌で災害対策の特集を行い、当法人の対策の紹介を行った。 ②BCPを作成し、災害に備える。 →今年度末には策定予定：次年度からBCP運用開始。	4	0	1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2	3	0
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	0	4	1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	4	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	5	0	0

以上で終了です。ありがとうございました。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	4	0	1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	4	0	1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4	0	1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

・全体を通して、一生懸命に外部評価に取り組み、自己評価を行っていると感じた。

【前回の改善計画に対して意見】主な改善計画
事業所評価シート 1～9 参照をお願いします。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

・地域での暮らしの支援の項目について、上灘成徳地区の利用者が全体の半分以上を占めている。地域性を考慮して身近な地域との繋がりを考えて行ってはどうか。
・人権・プライバシーの項目について、成年後見制度だけを扱っているが、社会福祉士に相談したりして、後見制度だけでなくほかの内容についても取り組んではどうか。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

【改善計画】

- ①介護職員のご利用者担当者会議参加の調整、声掛けに努める。会議に参加できない場合は、会議の内容をきちんと報告する。
- ②小グループを作り、個別のケアプラン進捗状況について簡素に報告する形式を試みる。
- ③ご利用者の生活情報や感情の動きなどの言語化、他職員への情報共有・記録化に努める。
- ④地域資源や地域福祉活用についての解説動画を複数用意し、職員が閲覧研修できるように環境を整える。
- ⑤木曜会の会議を録画撮影し、職員に視聴してもらう。可能な状況なら職員、利用者参加。
- ⑥地域自治体などの各種活動やイベントは、可能なら参加を再開していく。
- ⑦県長寿社会課のホームページ上にある資料や動画を視られる仕組みを作り、知識を得られる環境を整える。
- ⑧成年後見制度だけでなく、他の権利擁護制度なども学べる研修環境を整える。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4	1	0
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	5	0	0
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	5	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・やりたくなるような活動が用意してあって、とても楽しくて来やすい。
- ・手入れされていて室内は綺麗。嫌な臭いなどはない。

【前回の改善計画】

消毒、清掃など衛生面での感染対策やその他必要物品購入、設備修繕など計画的な予算を立て、利用環境向上や業務負担軽減に取り組み、より良いサービス提供のため環境を整備していく。

【取り組み内容】

- ・法人全体で、優先順位が高い物、有用度が高い物を選定し整備した。
- ・宿泊の要望が多い中、宿泊室として活用しづらかった段上がりの和室に階段を設置し、宿泊室として活用しやすくした。
- ・iPadを購入し、リモート面会だけでなく、リモート見学やリモート会議、動画撮影などに活用した。
- ・感染対策物品については、倉吉拠点分を本部でまとめて管理し、感染症発生のユニットで利用するなど柔軟な対応を行った。
- ・適宜、消耗品を補充し、不足する場合は鳥取拠点とも協力し融通するなど、数量の調整を行った。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・玄関に立って中が見えないし、玄関ホールに誰もいないので、どのようにしたらよいか分からない。もう少し案内を分かりやすくしてはどうか。
- ・建築後10年以上経過しているが、トイレもきれいで、掃除をしっかりとっていると感じた。
- ・職員だけでなく、下駄箱の拭き掃除などできる範囲で利用者が清掃を行うのはどうでしょうか。やりがいもできる。

【今回の改善計画】

- 来訪された方がわかりやすいように、事業所矢印など、案内板を掲示する工夫を行う。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	0
1	職員はあいさつできていますか？	5	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3	0	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	1	0	4
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	3	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・2について、民生委員、地域包括支援センターからみて、地域から認知されていると思う。
- ・あいさつは大きな声で、きちんとされています。
- ・ここに通うまでサポートハウスを知らなかった。

【前回の改善計画】

- ①参加が可能な地域の交流イベントに協力をしていく。

【取り組み内容】

→感染対策上、イベント自体自粛や祭参加見合わせとなった。文化祭作品展示や日曜日の清掃活動などできることを行った。

- ②施設周辺で出会った方や来所された方全員に、声かけを心がける。

→職員からは挨拶するように意識していた、本部も声かけをしているのを何回か確認していた。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・地域のイベント参加について、コロナ禍が落ち着いてきているので、今後に期待したい。
- ・職員に話しかけやすい、相談しやすい雰囲気はあるが、相談するほど困っていないので相談してない。

【改善計画】

- ①施設周辺で出会った方や来所された方全員に、声かけを心がける。
②参加が可能な地域の交流イベントに協力をしていく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5	0	0
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	0	0	5
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	1	2	2
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	0	0	5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ 結構な頻度で、職員が声を掛けてくれて、散歩で外に連れ出してくれる。1月に1回はドライブで9号線や公園などに出かけている。

【前回の改善計画】

- ①感染予防に努めて、ご利用者が外出できる機会を多く作る。

【取り組み内容】

→不特定多数の方が密集する場所は避けつつ、ドライブや散策など企画実施した。

- ②広報誌、チラシを近隣に配布し、地域の窓口となれるよう広報活動を行う。

→広報誌は1.5.9月と年3回発行し、関係外部や近隣住民など毎回約150部配布している。サポートハウスチラシを約200部配布中。

- ③関係機関と協力し、今生活に困っている方の情報網を広げ、支援する。

→地域包括支援センターや関係者を通し、相談に乗る機会が複数あった。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・ 担当者会議に介護職員も参加したり、地域ケア会議に参加したりするなどして、地域とのかわりやニーズの掘り起こしに役立てて欲しい。

【改善計画】

- ①広報誌、チラシを近隣に配布し、地域の窓口となれるよう広報活動を行う。

- ②関係機関と協力し、今生活に困っている方の情報網を広げ、支援する。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4	0	1
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	0	1	4
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	4	0	1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・コロナ禍により書面開催の場合でも、質問をしても次回の開催時に回答をされており、取組みや改善について分かり易い。

【前回の改善計画】

・事業所の活動や改善進捗状況のなどの報告・説明を行い、委員との交流を深め、地域で暮らしを支える仕組み作りに貢献する。相談を受けた事例などを報告する。

【取組み内容】

→今年度これまで4回開催。各施設での個別対応など推進会議で報告し、紹介した事案も複数あった。(いわきの里、サポートハウスなど)

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

・自分は出席した事はないけれど、高齢者を大切にしようという取組みはありがたい。これからもよろしくお願いします。

【改善計画】

・事業所の活動や改善進捗状況のなどの報告・説明を行い、地域で暮らしを支える仕組み作りに貢献する。相談を受けた事例などを報告する。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2	3	0
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	0	4	1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	4	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	5	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・この前避難訓練があったと思う。最近地震も多いし、訓練をきちんとしてくれるのはとてもよい。いざというときに、1人ではどうしてよいかわからなくなる。

【前回の改善計画】

- ①災害対策、計画の内容を、木曜会、広報誌・SNS 上において広報を行い、信頼される施設を目指す。

【取り組み結果】

→9月広報誌で災害対策の特集を行い、当法人の対策の紹介を行った。

- ②BCPを作成し、災害に備える。

→今年度末には策定予定：次年度からBCP運用開始。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・広報紙で災害対策の内容を確認できた。
- ・独居の利用者を中心に災害が起きそうな場合は、事前に施設へ避難（宿泊など）するなど、個別に対応をしている。

【改善計画】

- ①災害対策、計画の内容を、木曜会、広報誌において広報を行い、信頼される施設を目指す。

- ②BCP（事業継続計画）を基準に、災害に備える活動を行う。

令和5年度小規模多機能型居宅介護 地域サポートハウスしみず「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 健推会	代表者	清水 智子	法人・ 事業所 の特徴	当法人は平成17年3月設立し、現在グループホーム2施設、小規模多機能型居宅介護1施設、介護老人福祉施設1施設を運営している。地域サポートハウスしみずでは理学療法士によるリハビリ提供を行うと共に、その内容を職員に伝えて自主リハビリ補助を行ったり、その他地域で暮らすために必要な能力を維持していくための支援に力を入れている。
事業所名	地域サポートハウス しみず	管理者	藤村 寿幸		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	法人役員	合計
	1人	0人	2人	0人 (1名事前に意見聴取)	0人	1人	0人	2人	1人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>①新規利用前に行われる担当者会議にはできるだけ施設長、ケアマネージャー、介護リーダーが参加して本人・ご家族のニーズの明確化を行う。</p> <p>②本人の目標を職員間で確認する。</p> <p>③オンラインでの会議や研修に職員の参加を増やす。</p> <p>※他複数の改善計画あり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用の事前情報収集がよくできており、スムーズな対応につながった。 ・参加者がそろって担当者会議に参加する事が困難。 ・毎日目にする利用状況表に個別のケアプランを挟んでいつでも閲覧できるようにしている。 ・本人の思いや気持ちを話せるよう月1回の座談会の機会を設けている。 ・直接地域資源との関わりができていない。 ・柔軟な支援はできているが、木曜会に参加したことがないので、支援の繋がりがよくわからない。 <p>※他複数の取組結果は、事業所自己評価様式1～9に記載しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を通して一生懸命に外部評価に取り組み、自己評価を行っていると感じた。 ・地域での暮らしの支援項目について、上灘成徳地区の利用者が全体の半分以上を占めている。 <p>地域性を考慮して身近な地域とのつながりを考えて行ってはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権、プライバシーの項目について成年後見制度だけを取り扱っているが、社会福祉士に相談したりして、他の内容についても取り組んではどうか。 	<p>①介護職員の担当者会議参加の調整、声掛けに努める。</p> <p>②小グループを作り、個別のケアプラン進捗状況について簡素に報告する形式を試みる。</p> <p>③ご利用者の生活・心情情報など言語化、記録化に努める。</p> <p>④木曜会の会議を録画し、職員に視聴してもらう。</p> <p>⑤地域自治体などの各種活動やイベントは可能なら参加を再開していく。</p> <p>⑥県長寿社会課のホームページ上にある資料や動画、その他研修などの情報を視られる仕組み作り、環境を整える。</p> <p>※他の改善項目は地域関わりシート②に記載しています。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>①消毒、清掃など衛生面での感染対策やその他必要物品購入、設備修繕など計画的な予算を立て、利用環境向上や業務負担軽減に取り組み、より良いサービス提供のため環境を整備していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体で優先順位が高い物、有用度が高い物を選定し整備した。 ・宿泊の要望が多い中、和室に階段を設置し、宿泊室として利用しやすくした。 ・タブレットを購入、リモートでの面会や会議、動画撮影などに活用した。 ・感染対策については倉吉拠点分を本部でまとめて管理し、感染症発生のユニットで利用するなど柔軟な対応を行った。 ・適宜、消耗品を補充し、不足する場合は鳥取拠点と協力した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に立っていて中が見えないし玄関ホールに誰もいないので、どのようにしたらよいかわからない。もう少し案内を分かりやすく表示してはどうか。 ・建築後10年以上経過しているがトイレも綺麗で掃除をしっかりとしていると感じた。 ・職員だけでなく、下駄箱も拭き掃除などできる範囲で利用者も清掃を行うのはどうでしょうか。 	<p>来訪された方がわかりやすいように、事業所矢印など、案内板を掲示する工夫を行う。</p>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>①参加が可能な地域の交流イベントに協力をしていく。 ②施設周辺で出会った方や来所された方全員に、声かけを心がける。</p>	<p>・感染対策上、イベント自体の自粛や祭の参加見合わせとなった。文化祭作品展示や日曜日の清掃活動などできることを行った。 ・職員から挨拶するように意識していた、本部も声かけをしているのを何回か確認していた。</p>	<p>・民生委員、地域包括支援センターの立場からみて、地域から認知されていると思う。 ・挨拶は大きな声できちんとされています。 ・地域のイベント参加について、コロナ禍が落ち着いてきているので、今後に期待したい。 ・職員に話しかけやすい、相談しやすい雰囲気はあるが、相談するほど困っていないので相談していない。</p>	<p>①施設周辺で出会った方や来所された方全員に、声かけを心がける。 ②参加が可能な地域の交流イベントに協力をしていく。</p>
<p>D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>①感染予防に努めて、ご利用者が外出できる機会を多く作る。 ②広報誌、チラシを近隣に配布し、地域の窓口となれるよう広報活動を行う。 ③関係機関と協力し、今生活に困っている方の情報網を広げ、支援する。</p>	<p>・不特定多数の方が密集する場所は避けつつドライブや散策など企画・実施した。 ・広報誌は1.5.9月と年3回発行し、関係外部や近隣住民など毎回約150部配布している。サポートハウスのチラシを約200部近隣に配布中。 ・地域包括支援センターや関係者を通し、相談に乗る機会が複数あった。</p>	<p>・職員が声を掛けてくれて、散歩で一緒に外出してくれている。1か月に1回はドライブで9号線や公園などに出かけている。 ・担当者会議に介護職員も参加したり、地域ケア会議に参加したりするなどして、地域との関わりやニーズの掘り起こしに役立ててほしい。</p>	<p>①広報誌、チラシを近隣に配布し、地域の窓口となれるよう広報活動を行う。 ②関係機関と協力し、今生活に困っている方の情報網を広げ、支援する。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>①事業所の活動や改善進捗状況などの報告・説明を行い、委員との交流を深め、地域で暮らしを支える仕組み作りにも貢献する。相談を受けた事例などを報告する。</p>	<p>今年度これまで4回開催。各施設での個別対応など推進会議で報告し、紹介した事例もあった。(いわきの里、サポートハウス)</p>	<p>・コロナ禍により書面開催の場合でも、質問に対し次回の開催時に回答をされており、取り組みや改善についてわかりやすい。 ・出席したことはないけれど、高齢者を大切にしようという取り組みはありがたい。</p>	<p>①事業所の活動や改善進捗状況などの報告・説明を行い、地域で暮らしを支える仕組み作りにも貢献する。相談を受けた事例などを報告する。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>①災害対策、計画の内容を、木曜会、広報誌・SNS上において広報を行い、信頼される施設を目指す。 ②BCPを作成し、災害に備える。</p>	<p>・広報誌9月号で災害対策の特集を行い、当法人の対策の紹介を行った。 ・今年度末には策定：次年度からBCP運用開始。</p>	<p>・この前避難訓練があった。最近地震も多いし訓練をきちんとしてくれるのはとてもよい。 ・広報誌で災害対策の内容を確認できた。 ・独居のご利用者を中心に災害が起きそうな場合は、事前に施設へ避難(宿泊など)するなど、個別に対応をしている。</p>	<p>①災害対策、計画の内容を、木曜会、広報誌上において広報を行い、信頼される施設を目指す。 ②BCP(事業継続計画)を基準に、災害に備える活動を行う。</p>

